

CD クリーナーの効果(17) —USB ケーブルと LAN ケーブル—

1. 始めに

前報(16)に引き続き、USB ケーブルと LAN ケーブルについて CD クリーナーの処理を行ってみます。

2. CD クリーナーの試聴計画

既に CD プレイヤーの引き出しケーブルとフォノケーブルに関して CD クリーナーの処理の効果を認めていることから、USB ケーブルと LAN ケーブルでの処理を行ってみたいことにしました。

USB ケーブルと LAN ケーブルについては、リベラメンテシリーズのケーブルを使用しており、ウールの被覆をまとっていますので、あえて無名のオーディオグレードでないケーブルを選択しました。



再生ルートは、スイッチングハブから PC 経由で Sonica DAC へのストリーミング再生とし、スイッチングハブから PC への LAN ケーブルと PC から Sonica DAC への USB ケーブルについて処理を行ってみます。

音源は、ベルリンフィルデジタルコンサートホールから、次のものを選択します。

リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

マリスヤン・ソンス指揮ベルリンフィル

ファリャ 三角帽子

ファンフォ・メナ指揮ベルリンフィル

ラケル・ロヘンディオ (ソプラノ)

ヘンデル ハープ、弦楽と通奏低音のための協奏曲変ロ長調

マリー=ピエール・ラングラメ (ハープ)

ベルリンフィル

3. CD クリーナーの試聴結果

LAN リベラメンテと USB リベラメンテをそれぞれ無名のオーディオグレードでないケーブルに取り替えておきます。なお、LAN アクライザーと LAN iSilencer はそのまま使用します。

最初に、LAN ケーブルと USB ケーブルについて処理する前に聴いておき、処理後に聴き直します。

LAN ケーブルと USB ケーブルの未処理の場合は、LAN リベラメンテと USB リベラメンテから解像度や楽器の質感など著しく音質が劣化しています。

オーディオグレードでない LAN ケーブルと USB ケーブルについて CD クリーナーで処理しますと、リストのピアノ協奏曲 1 番は、オーケストラの音の濁りがとれ、ピアノの打鍵や響きぐあい違ってきます。

ファリャの三角帽子は、オーケストラの音の濁りがとれ、打楽器や拍手の立ち上がりやよくなり、金管の輝きが増し、ロヘンディオのソプラノが澄んできます。

ヘンデルのハープ、弦楽と通奏低音のための協奏曲は、ハープの響きがよくなり、弦楽と通奏低音の曖昧さが後退します。

一言で言えば、オーディオグレードでない LAN ケーブルの処理でリベラメンテの状態に近づきます。最後にリベラメンテケーブルに戻したところ、やはり一日の長があることが分りました。

4. まとめ

オーディオグレードでない USB ケーブルと LAN ケーブルへの CD クリーナーの処理の効果を認めました。

以上